

令和3年2月15日
東日本高速道路株式会社
東北支社

E6 常磐自動車道(相馬IC～新地IC)における切土のり面崩落について (2月15日(月)11時00分発表)

2/13(土)夜間に発生した福島県沖の地震に伴った E6 常磐自動車道(相馬IC～新地IC)の本線脇のり面の大規模崩落について、被災直後から土砂の撤去作業を鋭意行い、昨日(2月14日)18時には片側1車線での緊急車両の通行を確保したところです。

本日からの降雨予測や二次災害の危険性を考慮しつつ、一般車両の通行止め解除は今週半ばくらいまでに行うよう引き続き作業を進めてまいります。

また、本日、法面の安全性について有識者の意見を伺いながら必要な対策を実施した上で解除日時を確定していく方針です。

なお、解除日時については改めてお知らせいたします。

・別紙【被災概要】

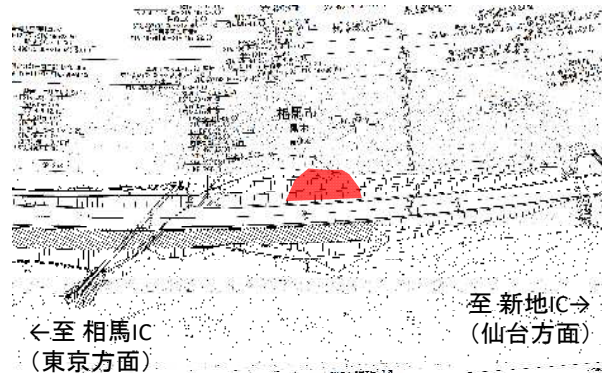
<事象概要>

被災箇所 : E6常磐道（相馬IC～新地IC）268.9KP
 地震発生日時 : 2月13日（土）23時07分
 崩落規模 : 幅70m×高さ15m×奥行10m（約5,000m³）
 人的被害 : 無し（警察および消防の確認により）

【位置図】



【平面図】



<現在の作業状況>

○現場体制 : バックホウ7台
 ブレーカー1台
 ダンプトラック32台

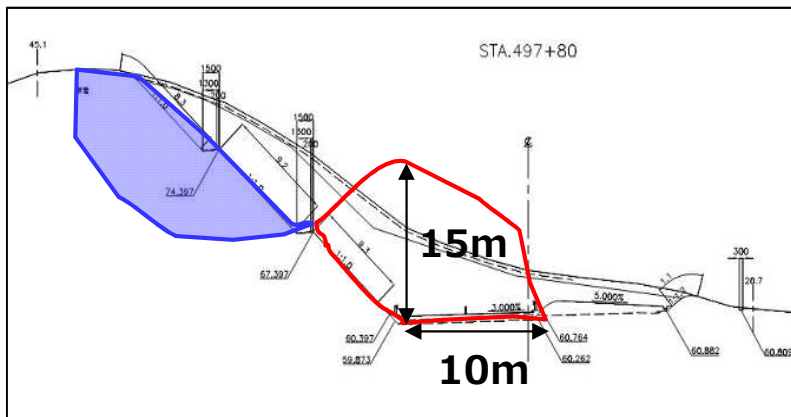
○作業状況 : 亀裂が見られる残存岩塊の撤去および搬出中

【作業状況】



【被災状況】

【横断図】



<今後の見通し>

- 被災直後から土砂の撤去作業を鋭意行い、昨日（2月14日）18時には片側1車線での緊急車両の通行を確保
- 引き続き、残る土砂撤去を進めるとともに、法面の安全性について有識者の意見を伺いながら必要な対策を実施した上で、今週半ばまでには一般開放する予定